

樽前山の火山活動解説資料

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

樽前山では、本日（26日）10時54分頃及び11時21分頃に火山性微動が発生しました。これらの微動の発生とともに一時的に振幅の小さい火山性地震がやや増加しました。また、火山性微動の発生に伴い、わずかな傾斜変化を観測しました。噴気の状態には変化はみられません。

火山活動に活発化の兆候は認められません。

山頂溶岩ドーム周辺では1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

＜噴火予報（噴火警戒レベル1：活火山であることに留意）が継続＞

○ 活動概況

本日（26日）10時54分頃及び11時21分頃に火山性微動が発生しました（図1）。10時54分頃の微動は、継続時間約5分10秒、最大振幅 $0.60\mu\text{m}$ （北山腹観測点）、11時21分頃の微動は、継続時間約2分30秒、最大振幅 $0.17\mu\text{m}$ （北山腹観測点）でした。樽前山で火山性微動を観測したのは、2010年2月23日以来です。微動の発生中及び発生後に振幅の小さい地震がやや増加しました。地震回数は、26日00時から16時までは13回（速報値）となっています。

傾斜計による観測では、北山腹観測点（山頂ドームの北約1.5km）の傾斜計で微動が発生した時間帯に、わずかな北上がりの変化を観測しました（図3）。GNSS連続観測データには変化はみられませんでした。

遠望カメラによる観測では微動発生時の噴気の状態に変化はありませんでした。

明日（27日）現地調査を実施する予定です。

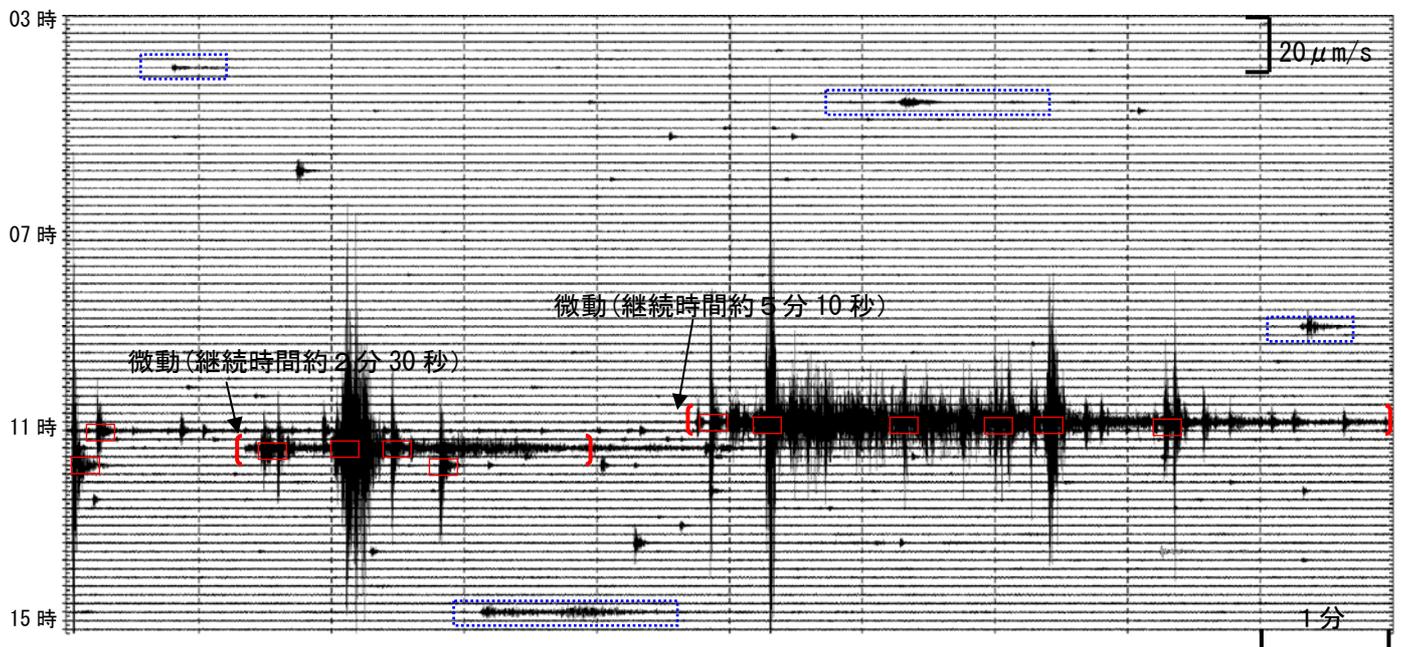


図1 樽前山 火山性微動と火山性地震の発生状況（2016年4月26日03時00分～15時00分）
北山腹（基準点）上下成分の速度波形

- ・ □ は微動の前後に一時的に増加した主な火山性地震を示します
- ・ □ は山体外の地震を示します

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。



図 2 樽前山 遠望カメラによる 10 時 54 分頃の微動発生時の樽前山の状況
(左：別々川遠望カメラで撮影 右：山頂カメラ (北海道開発局) で撮影)
・微動の発生前後において噴気の状態に変化は見られません

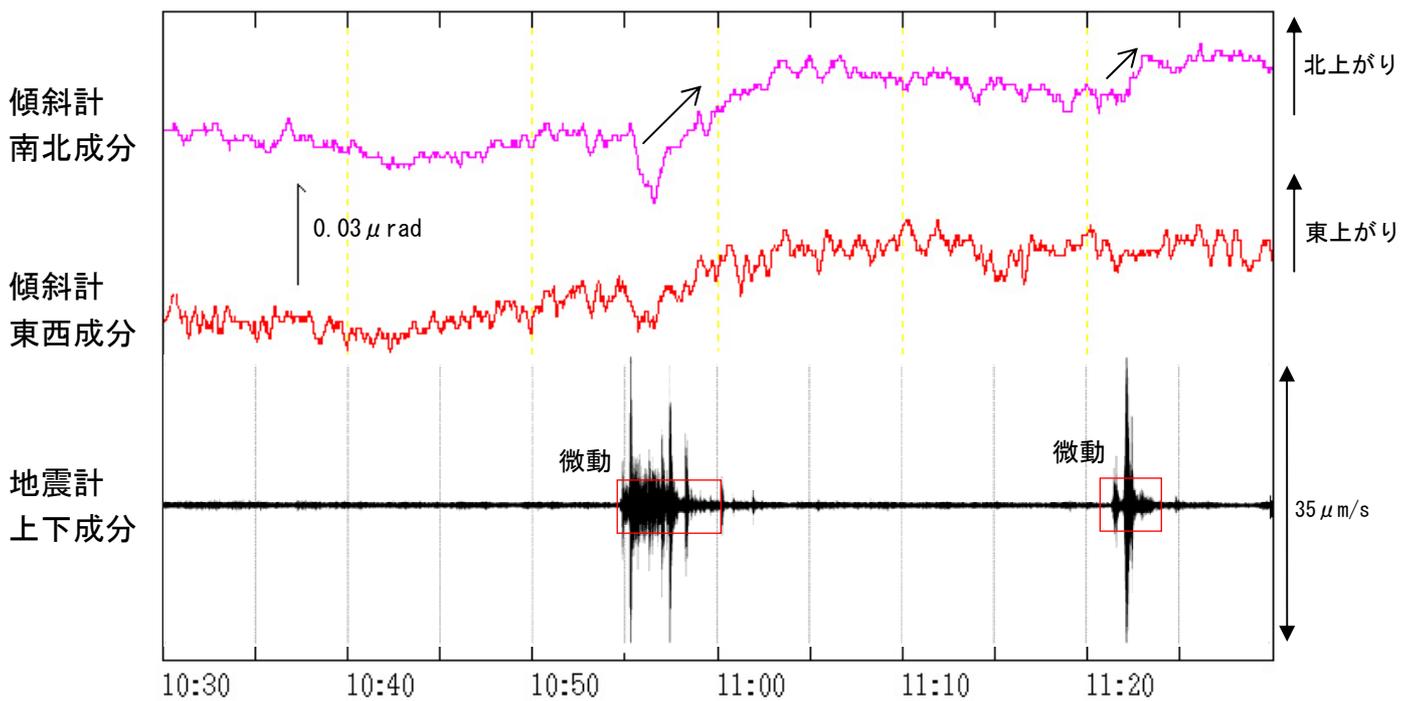


図 3 樽前山 北山腹観測点に設置した傾斜計及び地震計のデータ
(4 月 26 日 10 時 30 分から 11 時 30 分)
・微動が発生した時間帯にわずかな北上がりの傾斜変化を観測しました

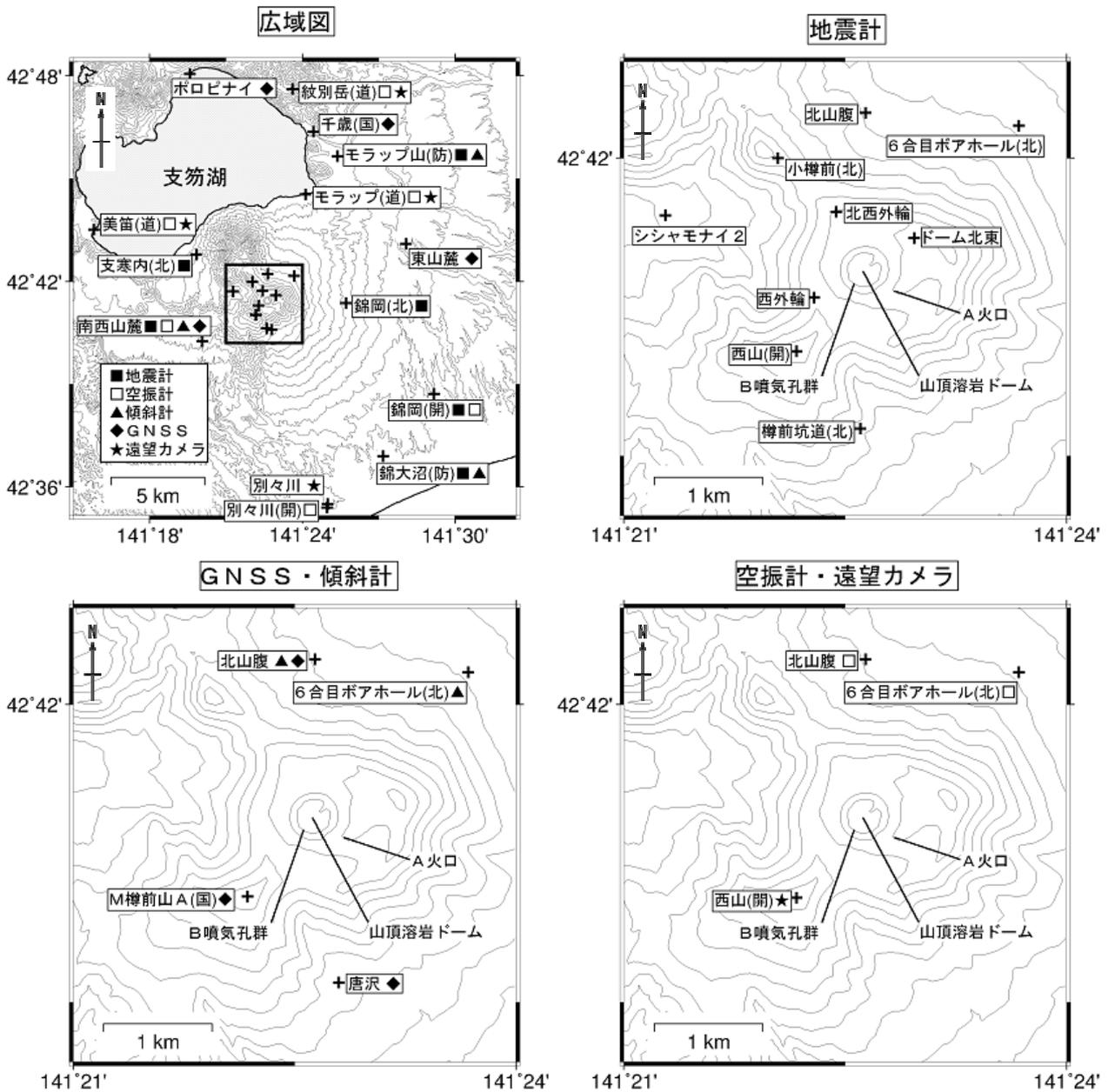


図4 樽前山 観測点配置図

図中の+印は観測点の位置を示します

地震計、GNSS・傾斜計、空振計・遠望カメラの配置図の描画領域は、広域図内の口で示した領域を拡大したものです

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

- (開) : 国土交通省北海道開発局
- (国) : 国土地理院
- (北) : 北海道大学
- (防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所
- (道) : 北海道